

## 編 集 後 記

中国四国支部紀要第六・七合併号を刊行するはこびとなり、次の研究を収録した。

### 第 七 回 研 究 発 表 会

(昭和38年10月29日、広島大学にて)

1. Lamartine の Narcissisme について……………広島大学 西 岡 政 治
2. シャンソン・ド・ローランの音韻について…鈴峯女子短大 信 森 広 光
3. L'Académie des Jeux-Floraux について……………広島大学 佐 藤 弓 葛  
(ロマン派理論闘争を中心として)
- 講演 Sur la versification française …………… 広島大学 IRÈNE MECZ

### 第 八 回 研 究 発 表 会

(昭和39年11月15日、鈴峰女子短大にて)

1. Musset の “Nuits” について……………広島文化女子短大 政 広 洋 子
2. 超現実主義小論……………岡山大学 佐 藤 巖
3. Nerval “Les Illuminations” について……………鈴峰女子短大 加 藤 宗 登
4. アクセントのない代名詞について……………岡山大学 大 高 順 雄
5. Parlez-vous franglais? についての所見 ……松山商科大学 広 田 喜 作

上記のうち信森氏の分は原稿到着の都合で次の機会に譲ることになった。御諒承を得たい。

前号においても触れたが、毎年発表会をもちながら隔年に紀要を出すことは、何といっても時流に添わない、間拔けたことであるから、いま一息の努力で毎年刊行はできると思うし、またそれを実現させねばならぬと思う。当支部の特殊地位を考え、新取気鋭の士がその衝に当たられて斯道振興に尽される日を望むや切なるものがある。

毎号のことながら広告主の御協力と、破格の支援で出版を引受けられた大学印刷に深甚の謝意を表す。